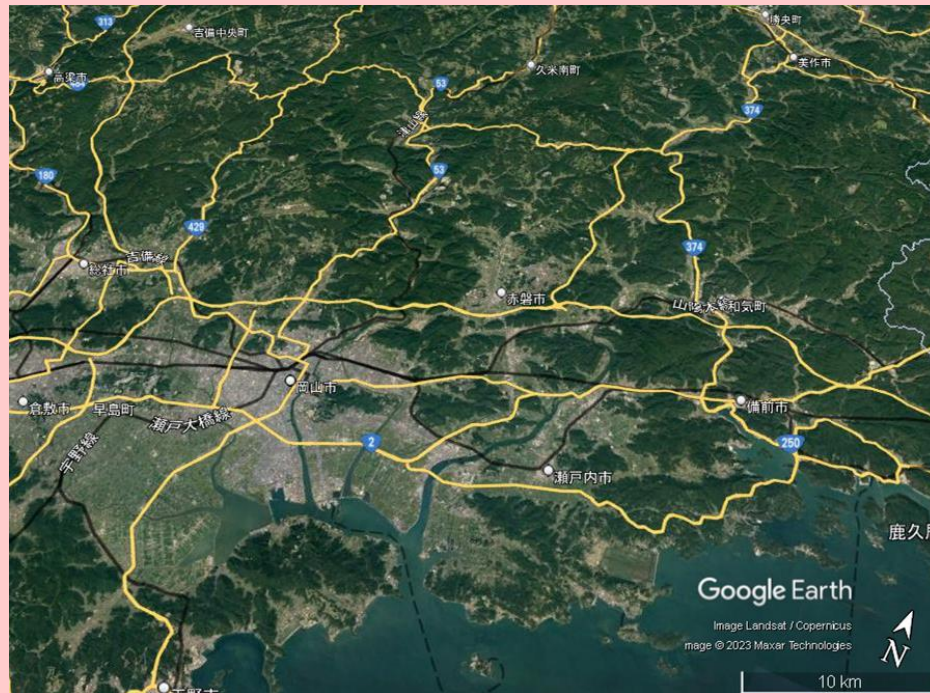


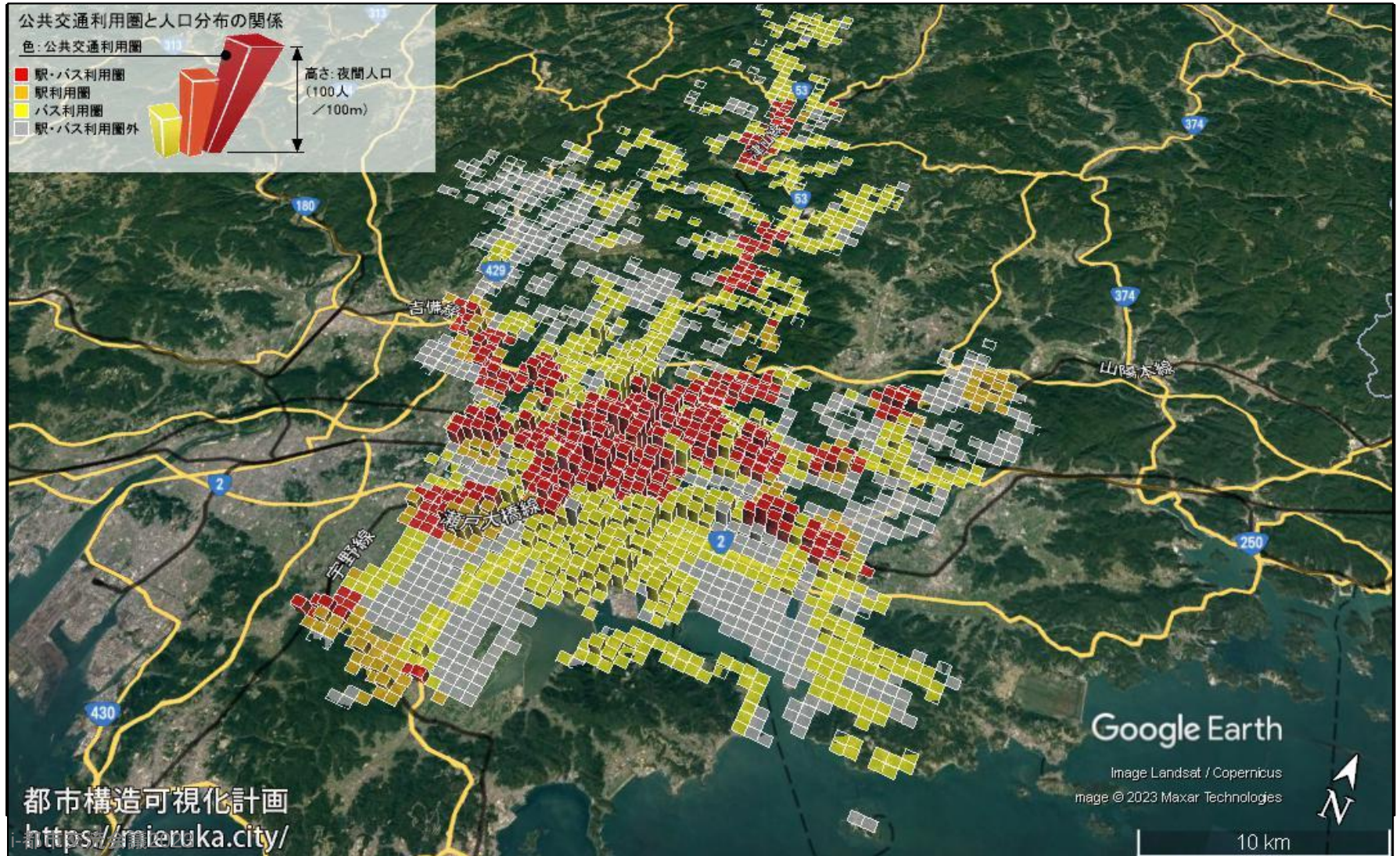
# 都市構造可視化ツールの活用



岡山市 都市計画課

# 1. 交通利用圏と人口分布

おおよそ電車の沿線に沿って人口が分布



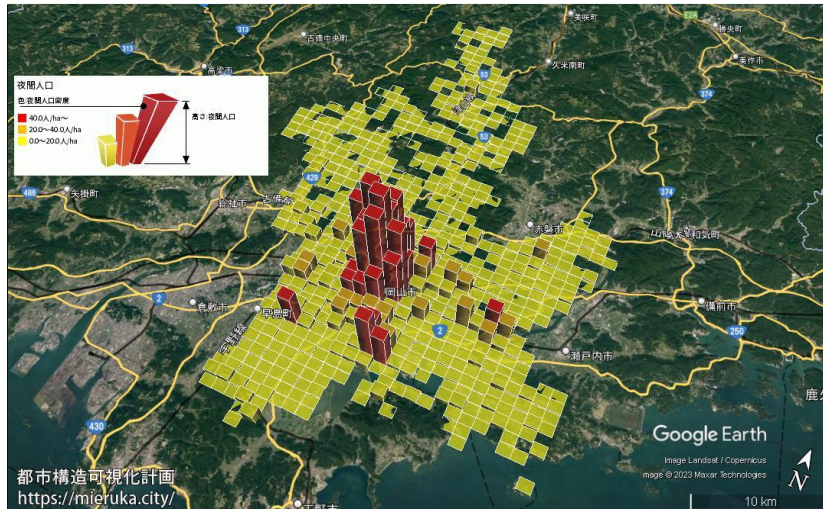
## 2. 公共交通利用圏と小売販売額の関係

### 販売額は中心部に集約

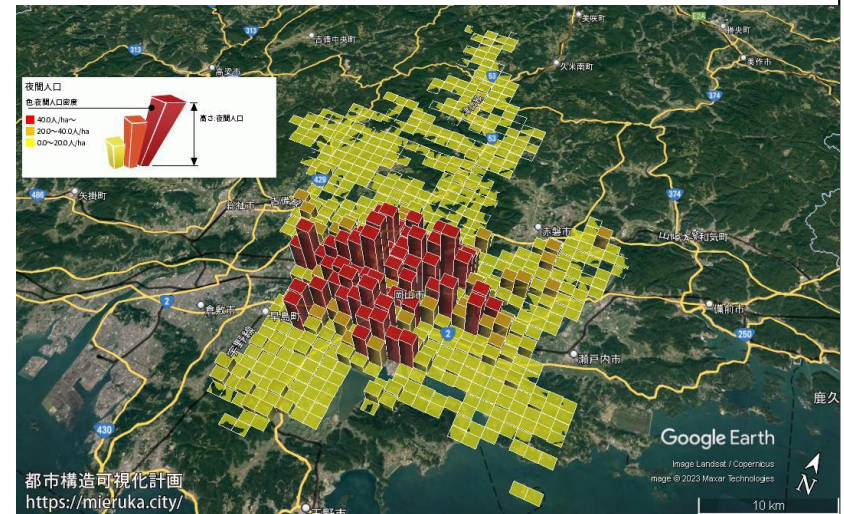


### 3.人口分布の経年変化

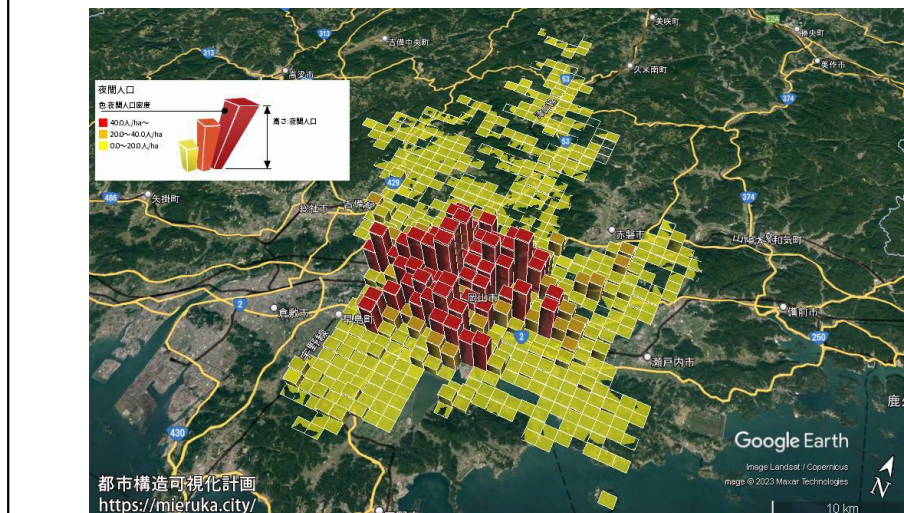
多少の広がりはあるが、分布にあまり変化はない



1970年



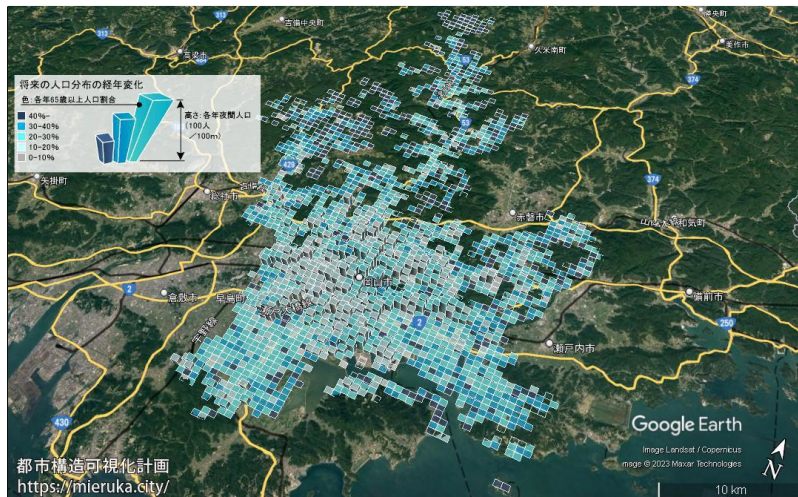
2023年



2050年

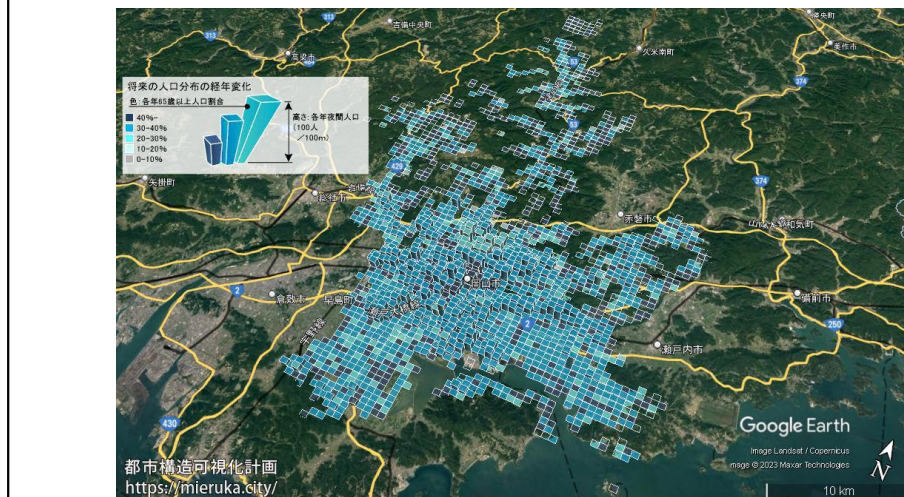
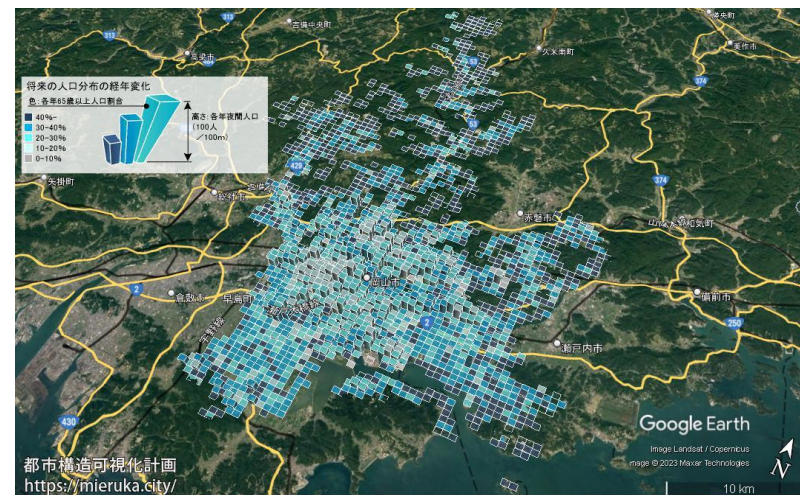
# 4.高齢者割合の経年変化

分布に変化はないが、割合は大きくなっている



2010年

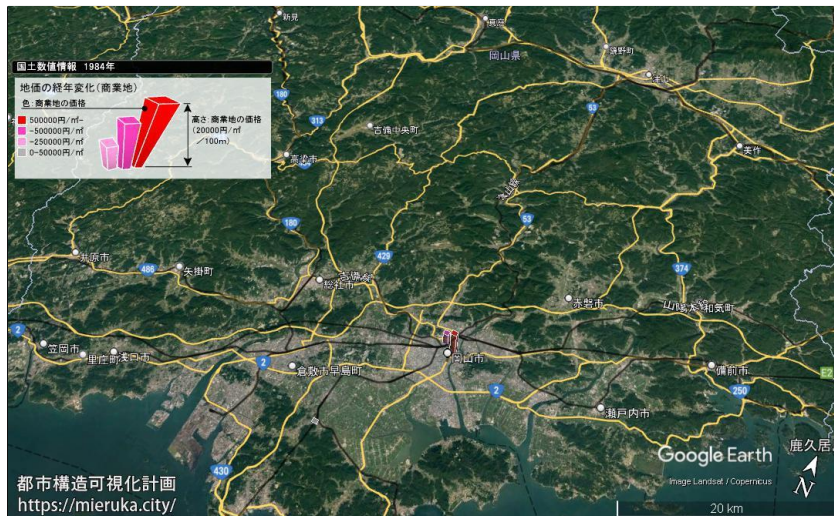
2023年



2060年

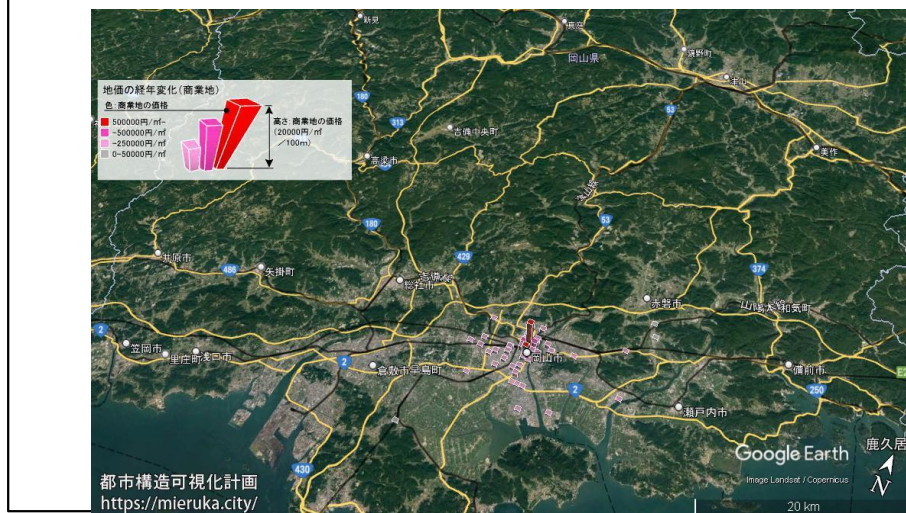
# 5.地価の経年変化

## 1991年ごろをピークに低下



1991年

1991年



2018年

## 6.まとめ

### 可視化ツールを用いて分析した結果

- 鉄道沿線を中心に人口分布がみられる
- 複数路線が走る鉄道駅周辺の人口は多い
- 市街化調整区域にも人口が分布
- 高齢者率はエリアによる傾向の違いはない
- 商業の中心は岡山駅周辺
- 郊外での販売額は少ない
- 商業に関する地価も駅前のみ高い



人口：724,691人

面積：789.95km<sup>2</sup>

